

師走、一年納めの月となりました。日暮れも早く、冬本番の気配が感じられる季節となつてきます。年の暮れになると、各家々では「煤払い」をして、お正月を迎える準備を始めます（元々は十三日に行つたものです）。神棚・仏壇を清め、神棚に新しい稲藁で作つた「しめ縄」を張り、新米でお餅をついて「お供え」を作り、青々とした松竹で作つた「門松」を立てて「歳神様」を迎えるための準備をします。「歳神様」の「とし」とは、「稲」を意味し、豊かさや恵み・生命の象徴です。ですから古来・日本では、お正月になると「歳神様から新しい命をいただき、一歳年をとる」という「数え年」という年齢の数え方をしてきました。今日でも、私たち日本人は様々な人生儀礼に関する年齢は「数え年」で行つていきます。これは、成長過程の節目ごとに充実した人生が送れるよう、神様に感謝と祈りを捧げ、常に神様との御縁を持ち続けてきている証です。清々しい家、清々しい心で歳神様（新年）を迎え、初詣をしたいものです。

今月の行事

二日 いいおか幼稚園 遊戯会

三日 正月例祭祭典委員会

氏子総代会 九時三〇分〜
当番区長会 一〇時三〇分〜
お正月様頒布始め 中旬

七日 大雪

一〇日 埴・皇産霊神社 例祭（初卯）

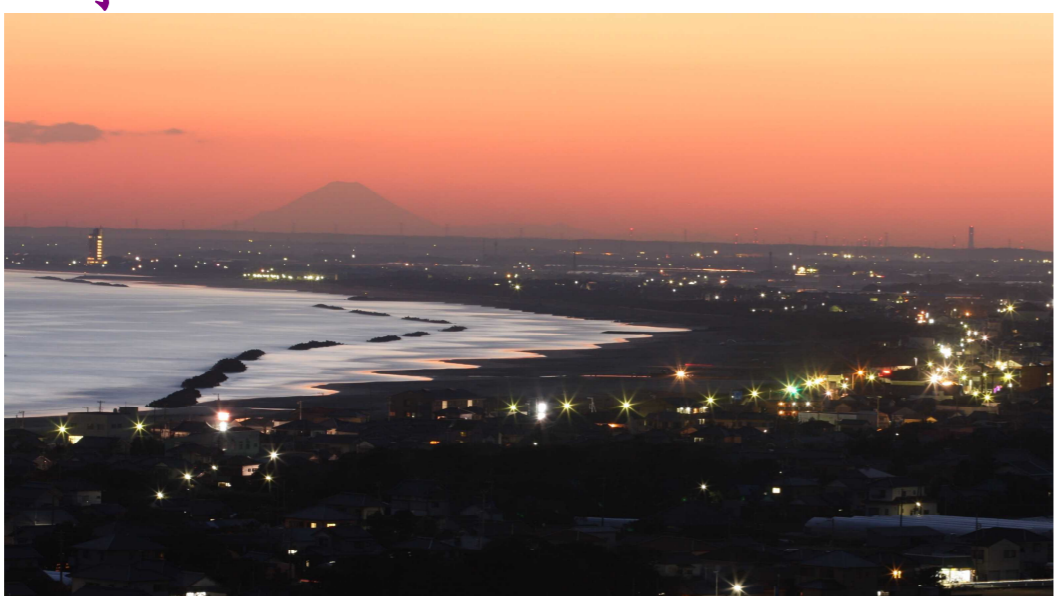
二二日 冬至

いいおか幼稚園 終業式

三一日 年越の大被（二八時）

一月一日 元日 正月祈念（御祈祷）

〇時〜一時 七時〜一六時
二日以降は 八時〜一六時



新年の初詣は、各種感染症の感染予防のため、対面する際にはマスク着用の上、「密」にならぬよう、気をつけてお参り下さい。